



自立支援指定相談支援事業所「あさひ」のお知らせ

相談支援事業所あさひは、知的・身体・精神の各障害をお持ちの方が、地域生活を送るための相談支援を行っています。障害福祉サービス利用に関するお問い合わせをはじめ、日常生活や就労に関する困難、心理的な悩み等、幅広い相談に対応しています。最近で特徴的だったのは、雪寄せや雪下ろし

に関する相談。自分1人で処理するのはタイヘンだけど、ボランティアや業者への依頼の仕方もよく分からない…といった困りごと、親身になってお聞きし、一緒に解決を考えます。「あさひ」は皆さんの地域生活を応援致します！！

連絡先

協和病院地域支援連携室内・指定相談事業所あさひ

月曜～金曜（国民の祝日、8月13日及び12月30日～1月3日を除く）相談支援専門員：浅沼・渡辺／相談補助員：藤井・藤原
TEL：018（892）2881 FAX：018（892）2888 e-mail：kyrenkei@sirius.ocn.ne.jp

ケイメンタルクリニック便り

新年度を迎えるにあたって

ケイメンタルクリニック 看護師長 藤本 尚子



診察室

当クリニックの診療科目は、心療内科、神経科、精神科となっております。診察は完全予約制となっており、新患の方には始めに、看護師が症状や悩み事などを伺う問診を行い、その後、医師による診察を受けてい



精神科デイケア・ショートケアのご案内

当クリニック2階では精神科デイケアをおこなっております

■デイケア・ショートケアとは

精神科デイケア・ショートケアとはプログラムを通じて基本的な生活習慣、人との関わり方、社会生活のルール、病気の知識などを学び、自尊心の回復・病気の回復をはかる場所です。

■活動時間 デイケア…………… 9：00～16：00
ショートケア 午前の部… 9：00～12：00
午後の部…13：00～16：00
土曜日・日曜日および祝祭日はお休みです。

■プログラム

軽スポーツや手芸、健康講座や調理実習などがあります。
■当クリニックに通院されていない方でも参加できますのでまずはご連絡ください。

TEL:0187-66-3020 FAX:0187-63-0041 〒014-0027 大仙市大曲通町10番8号

【お知らせ】 ケイケアセンターは事業転換のため、3月31日をもって廃止いたします。新しい事業につきましては次回報告予定です。

編集後記

待ち遠しかった春が、そこまで近づいて来たかと思ったら、また少し遠のいた感じがする3月半ばとなりました。

さて、4月からは消費税増税に加えて、診療報酬改定・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の改正・障害者総合支援法の平成26年度分施行が行われ、当院にとってはトリプルパンチのように大きな変革を余儀なくされる新年度となります。しかし、国では今後歩むべき道筋をはっきりと示しておりますので、院内各部署・各施設が連携を強め、一丸となって取り組んでいくことで理念に掲げる医療・保健・福祉の実践に貢献できると信じています。

患者さんの権利に関する宣言

1. 患者さんは、良質な医療を受ける権利を持っています。
2. 患者さんは、十分な説明を受けて治療を選択する権利を持っています。
3. 患者さんは、自己決定ができない状況にあるときには、法律上の代理人が同意する権利を持っています。
4. 患者さんは、治療に不安や疑問を感じた時には他の医療機関に意見を求める権利を持っています。
5. 患者さんは、治療や処遇に関する不満があるときには関係機関に意見を求める権利を持っています。
6. 患者さんは、自分自身の大切な情報が保護される権利を持っています。
7. 患者さんは、病気になるって初めて得られる大切なことを探す権利があります。

いな穂

Vol. 2
4月号

基本理念

自由（個人の尊重を重視）、
自立（社会支援の積極的な取り組み）、
愛（思いやり溢れるサービスの提供）
を不変のテーマとした医療・保健・福祉の実践

基本方針

地域に根ざした医療、人にやさしい医療を確立し、向上心をもって常に努力する

七指針

1. 生命尊重に徹すること
1. 事故防止に努める事
1. 常に創意工夫を怠らないこと
1. 能率増進を図る事
1. 常に融和連携を保つこと
1. 消費節約に努める事
1. 行動記録を的確に記すること

第1回慧眞会合同研修発表会



発表演題

- ◎療養病棟における終末期患者への看護とケア（看護部 1A 病棟）
- ◎患者の意見を取り入れた減量プログラム（看護部 2 病棟）
- ◎LASMI の活用における退院支援について（看護部 3 病棟）
- ◎『アウトリーチ』の副次的効果～訪問診療前に改善した困難事例（地域支援連携室）
- ◎QFT 検査 ～ QFT 検査の利点と問題点～（臨床検査科）
- ◎CR 機導入の提案（放射線科）
- ◎抗精神病薬の単剤化率の推移について（薬剤科）
- ◎当院における退院支援についてー多職種によるチーム連携を通して（栄養科・作業療法科）
- ◎リアリティーオリエンテーションと作業療法を併用した認知高齢者に対するアプローチの一検討（作業療法科）

当法人では、平成17年から合同研修会を月に2回、病院合同研修室において通常業務終了後の午後5時15分から行ってきました。今年度は、これまでの取り組みをさらに発展させるために、平成25年11月30日に慧眞会合同研修発表会を、協和市民センター「和ピア」にて開催しました。当日は雪のちらつく寒い日でしたが、100人近くの参加者にお集まりいただき、賑やかな雰囲気での開会となりました。そして会場では、様々な工夫をこらしたテーマが発表され、参加者は皆真剣に聞き入り、そしてときには質問をしたり、またときには笑い声が鳴り響いたりと有意義な時間を共有できた発表会となりました。

シンポジウム

テーマ 「協和病院と地域医療」

〈シンポジスト〉

- ◎医療法人社団隆仁会秋田往診クリニック 院長
- ◎黒澤医院 院長
- ◎医療法人慧眞会
サングレイス居宅介護支援事業所
介護支援専門員

- ◎迅速診断キットの特性と適正な使用方法について（診療部）
- ◎精神科デイ・ケアってなに？（デイ・ケア担当）
- ◎高齢者の心を探る ～想い出話の効用～（サングレイス）
- ◎サンエルフのパーソンセンタードケアについて（サンエルフ）
- ◎小規模多機能型居宅介護について（ケイケアセンター）
- ◎診療所デイケアの地域での役割（ケイメンタルクリニック・地域支援連携室）
- ◎こんにちは私がサンフェザント（サンフェザント）

協和病院



感動した3人のメッセージ

協和病院 院長 善本 正樹

最近、私が感動した3人のメッセージです。

99歳の長岡三重子さんは、18の世界記録と23の日本記録を持つスイマーである。80歳のときに、痛めた膝のリハビリのために水泳を開始した。最初は、歩くだけで泳ぐことが出来なかった。しかし、次第に泳ぐことが好きになり、84歳の時に日本の水泳大会に出場した。今も週に3回練習を重ねて、今年は100歳になるが、世界のライバルに負けたいためにいくつもの大会に出場を予定している。

“やる気と情熱を持ち続ければ夢は必ずかなう”、“100歳を過ぎても1500メートルを泳ぎ切る”と目標達成を誓う。

41歳のレジェンド（伝説）と呼ばれる男、葛西紀明選手は、ソチオリンピックで個人および団体戦において念願のメダルを獲得した。今回は、実に7度目の出場であった。冬季五輪では、世界でも史上最多出場となる。初めて出場した'92年の五輪から数えて22年もの間、第一線にいる。その原動力は、家族の力だった。母は不幸な事故で亡くなり、妹は重病で入院している。毎日、妹からは励ましの連絡をもらった。帰国した成田空港で出迎えたファンにメダルを触らせて、“メダルに傷がついても大丈夫”と感動を分かち合った。

“4年後も目指す”、“次の45歳、49歳と、体力や技術は

もっと向上する。ここまで来たら諦めないで行けるところまでいく”と次の目標を持つ。

2020年東京五輪招致の最終プレゼンテーションのスピーチで活躍したパラリンピアン佐藤真澄さん（31歳）は、19歳のときに骨肉腫で右足を切断した。そのときは、“これからどう生きていくのか”と悩み、ショックで言葉が出なかった。義足をつけても普通に歩けなかったが、あるとき恐る恐る水泳をやってみると足がなくても泳げる自分に感動した。その後、義足士臼井二美男さんと出会って、義足で走るには普通は数年かかるところ、1ヶ月で走れるようになり、22歳でパラリンピックに出場した。英語は2年前に独学で始めて、通勤時間に集中して英語を勉強した。五輪招致では、彼女の英語力が活かされた。

“今しかできないことに惜しみなく力を注ぐ”、“大事なものは、失ったものではなく、今あるもの”と仕事（サントリー勤務）、練習、大会をこなす。

いくつ年をとっても、どんな状況でも、人は前向きに生きることが出来る。そう信じる力を我々に与えてくれる3人のメッセージである。

クリスマス演芸会開催

平成25年12月24日、ちょうどクリスマスイヴの日にクリスマス演芸会を開催しました。演芸発表をした職員・患者さん達は、少ない練習時間ではありましたが、精一杯の演奏・合唱を披露し、集まった患者さん共々、ささやかではありますがクリスマスの日を楽しみました。



職員によるハンドベル演奏「ホホワイトクリスマス」「小さな世界」



職員による合唱隊（ハッピー・クワイヤー）が赤鼻のトナカイほか4曲を歌いました。



患者さん有志による歌「雪」と「サライ」を元一杯に歌いました。



サンタクロースが登場して、来場した患者さん全員にプレゼントを贈りました。

もちつき大会開催

恒例のもちつき大会を平成26年1月21日(火)に行いました。

15Kgのもち米を二つの臼を使って3回ずつつきあげました。ついた餅で、あんこ餅・ごま餅・みたらし醤油餅を作り、患者さんに食べていただきました。



餅がつきあがるのを、職員（味付け担当）も患者さんも、今か今かと待っています。



患者さん自らもちつきをして、元気なところを見せています。（ヨイシヨ、ヨイシヨ）

作業療法科 & 精神科デイケア

●精神科デイ・ケアとは？

地域で生活する精神障がい者が社会復帰に向けた第一歩として、活動する場です。在宅療養・通院治療をされているメンバーさん達のQOL（生活の質）の向上や、生活リズムの調整・健康の維持向上・再発防止を目指しています。

手工芸・軽スポーツ・屋外レクリエーションなど多彩で季節感のあるプログラムを楽しみながら、社会性や生活機能の改善が図れます。メンバーさんにはグループホームの入居者

も多いので、グループホーム生活に関わる相談などにも対応しています。

参加には医師の指示が必要で、3時間のショート・ケアか6時間のデイ・ケアを利用することができます。また、見学はいつでも受け付けておりますのでお気軽にお立ち寄り下さい。



●自立支援協議会 地域交流展示会（H26/2/14・15）

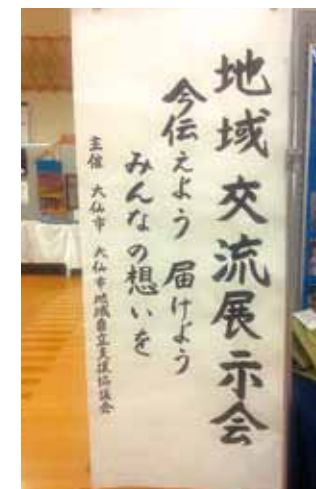
「地域交流展示会に出展！見学に行ってきました。」

平成26年2月14・15日に大仙市イーストモールで自立支援協議会による地域交流展示会に当院から作業療法とデイ・ケアの作品を出展させていただきました。

2月14日（金）に作業療法メンバー、デイ・ケアメンバー合同で見学に行ってきました。自らの作品が飾られ嬉しそうにしている方、他施設の作品を見て「今度こういうの作って

みたいな」と希望を話される方など、皆いきいきとした表情でじっくり作品を見ていました。

私たちスタッフも他施設の作品・取り組みを見させていただき、「こういった活動もあるんだなあ」と本当にたくさんの刺激を受けてきました。地域交流展示会に参加させていただき、これまでの当院での取り組みを振り返り、今後の活動がさらによくなるために今、何ができるのかを考える良い機会となりました。



地域支援連携室

- 医療連携の領域では、患者様が適切な医療や介護サービスを受けられるよう、院内や慧真会の諸施設、および外部機関との調整を行っています。たとえば、医療ケアが一段落して介護施設入所や在宅療養が適当になった場合、入所先施設やデイサービス・訪問介護などについて情報提供や相談支援を行っています。
- 医療社会事業・医療相談の領域では、各種制度や社会資源サービスについて、患者様やご家族様へのご案内に力を入れていました。先日は作業療法科と連携し、入院患者様を対象とした社会資源活用に関する研修会を実施しました。参加された方からは「社会資源を使ってみようと思った」「退院前に手帳や自立支援医療通院精神を申し込みたい」などの感想を頂きました。
- 心理臨床の領域では、患者様が学校・職場等への適応を目指す上で、自己の性格傾向や心理的機能・能力の特徴についてアセスメント（心理検査）を行い、それを参考にカウンセリング（心理面接）を行う試みが増えています。心理

検査や心理面接は主治医の指示によって行われますので、興味のある方は主治医にご相談下さい。

- 精神科デイケアの領域では、グループホーム「ケイハウス水仙」のメンバーをはじめ、当院の通院患者様が数名登録され、楽しく日中活動に取り組んでいらっしゃいます。デイケアは昨年に開始され、まだ手探り状態の部分もありますが、利用者や地域の皆様の声をお聞きして、プログラム等に活かして行きたいと考えています。ご意見・ご要望などありましたら、気軽にお教え下さい。（外来待合室『ふれあいBOX』への投書をお待ちしています）



看護部

看護部は大きく変わろうとしています。目標は、病院機能評価の受審です。

看護部独自の勉強会、各種委員会の立ち上げへの参画、院内外の研修会への積極的な参加、病院独自のプラットフォームの作成も着々と進んでいます。

病院は多職種共同のオーケストラのようなものです。その業務は独奏に見えますが、共演することにより美しいハーモニーが生み出されます。

看護部個々の内なる力を解き放ち、力を結集する時が来ました。

（総看護師長代理 平沢浩一）



TEL:018-892-2881 FAX:018-892-2888 〒019-2413 大仙市協和上淀川字五百刈田 277 番地 1

介護老人保健施設 サングレイス

通所リハビリテーションの紹介

リハビリテーション科 理学療法士 鈴木 真理

通所リハビリテーションは、要介護状態となった場合においても利用者様が可能な限り自宅で、持っている能力に応じ自立した生活を営むことが出来るよう、必要なリハビリテーションを行うことにより心身機能の維持回復を図ることを目的としています。その役割は①日常の継続した健康管理（医学的管理）、②心身機能の維持・改善（リハビリ）、③閉じこもりの予防（ソーシャルケア）、④介護負担の軽減（レスパイトケア）となっています。

現在利用登録人数38名、一日平均14名の方が利用されておりスタッフ3名で関わらせていただいております。利用者様は脳血管障害や骨・関節疾患、内部障害、認知症、廃用症候群など多岐にわたっていて、要介護4から要支援1までの方が在籍しています。

通所リハビリテーションの1日は利用者様をご自宅へお迎えに行くことから始まります。送迎バス1台最高6名まで、バス3台と時には乗用車も使用し4台で。所要時間の1時間はちょっとしたドライブ気分です。施設到着後は健康状態をチェックし、午前中は入浴タイム。利用者様の状態に合わせて入浴方法を設定し、可能な部分は頑張ってもらいながら入浴の指導と介助、見守りを行います。入浴以外の

方は個別リハビリや作業活動に取り組まれたり、他の利用者と交流されたりとそれぞれの時間を過ごします。お昼には隣接の厨房で調理された個々の状態に合わせた食事を提供しており、時々提供されるホテルメイドのパン食も利用者には好評です。昼食後は休憩を挿んで午後の活動を再開。個別リハビリや作業活動の他、自主訓練に励んだり、スタッフと共に施設内を歩行練習する方もいらっしゃいます。午後の休憩タイムには手作りおやつをいただき、もうひと頑張り。夕方の帰宅時間を迎えると再び送迎バスで自宅までお送りしています。1日のスケジュールはこのような流れになっており、個々の状態に合わせて担当ケアマネジャーが作成するケアプランをもとにサービス提供をしています。

通所リハビリテーションの利用者様は地域で生活する方々であり、利用者様同士の交流からも単なる在宅リハビリ施設としての機能だけでなく、コミュニティ機能としての役割も担っているのではないかと感じています。地域の方々が住み慣れた土地で生き生きと暮らしていけるよう、私達に何ができるかを常に念頭に置きながらサービス提供をしていきたいと思っています。



通所リハビリテーション利用の様子。理学療法士による個別訓練の他、自主訓練に励んだり作業活動に取り組む利用者様。作品の素晴らしい出来栄にはスタッフもビックリ！

TEL:018-892-3260 FAX:018-892-3663 〒019-2413 大仙市協和上淀川字五百刈田 278 番地 5

介護付有料老人ホーム サンフェザント

ご家族向けのアンケートを実施しました

ご利用者及びご家族に、より良いサービスを提供するために、現在のサービスの満足度や意見・要望をうかがい、今後のサービスの提供に生かすことを目的に、ご家族向けのアンケートを実施いたしました。

その結果がまとまりましたので、広報を通じ報告いたします。
また、お忙しい中アンケートに御協力を頂きました皆様に感謝申し上げます。

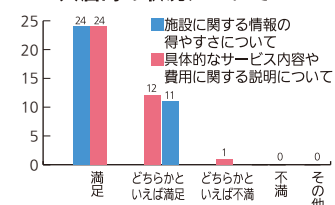
サンフェザントご利用者ご家族アンケート調査まとめ

- 1. 調査の目的**
ご家族から、満足度や意見・要望をうかがい、今後のサービスの質を向上させることを目的とする。
- 2. 調査対象**
平成25年12月1日現在ご利用いただいているご利用者のご家族。
- 3. 実施期間**
平成12月10日にアンケート用紙を郵送し12月28日を締切とした。

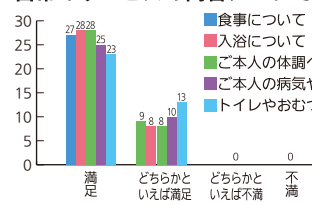
- 4. 回収方法**
回収箱を事務室前に設置。来所が困難なご家族には郵送により返送を依頼。
記入は無記名とした。
- 5. 回収状況**
回収率 36/54 (66. 6%)

6. アンケート結果

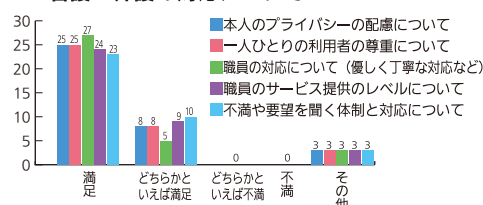
入居時の状況について



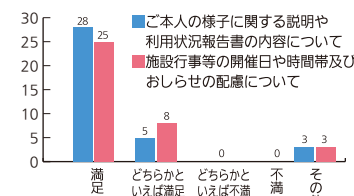
日常のサービスの内容について



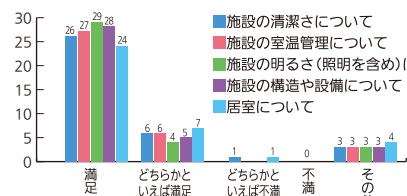
看護・介護の対応について



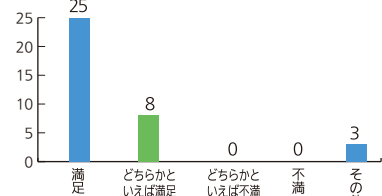
ご家族と施設との連携・交流について



施設空間の快適さについて



総合的な評価



7. 意見、要望等

- 事務室職員の接遇について
・ユニホームの色を明るいものにしたほうがよい。
- 看護・介護の対応について
・時々投げやりな態度の職員がいる。
・洗濯物があるときはひと声かけて欲しい。
- ご家族と施設との交流について
・入居者の必要な品目を詳しく説明してほしい。
- 施設空間の快適さについて
・居室に入ったときに臭いが気になる事がある。
・公衆電話の設置をお願いしたい。

- 総合的な評価
・プロの仕事とはいえ、特異な性格の持ち主に親切に対応して下さいのをお大変感謝しております。（原文のまま）
・職員の方々にはいつもお世話になり、心から感謝しています。このような施設に入居させることができたことを喜んでおります。（原文のまま）
・入居させていただいて本当に感謝いたしております。直接介護をしてくださる方々にも、それぞれ個人差があるようですが、それぞれが福祉の精神を心の中に入れて頑張ってくれているようですので安心しております。毎日ご苦労様です。（原文のまま）
・特になし。これからもよろしくお願いします。（原文のまま）

サンフェザントの行事の様子です

ドライブで農業科学館へ行きました



船岡保育園の皆さんの踊りです



敬老会の様子



クリスマス演芸会の様子



節分の様子



今後の行事予定

5月 花見（ドライブ）
4月 運動会
3月 雛祭り
買物ツアー

●サンフェザントご利用相談窓口 サンフェザントでは、ケアマネジャーが常時ご相談に応じしています。介護保険のことであれば、入居のご相談以外も受け付けますのでお気軽に声を掛けてください。

TEL:018-853-8990 FAX:018-892-3033 〒019-2413 大仙市協和上淀川字五百刈田 277 番地 5

グループホーム サンエルフ

介護を必要とする軽度の認知症の方々が共同で生活しているサンエルフの最近の様子を紹介します。

歌や踊りのボランティアの方々が訪れ皆を楽しませてくれますが、昨年末にはフラダンスのボランティアが踊りを披露してくださいました。入居者の方も首にレイをかけ、音楽にあわせて手を動かしゆったりとした時間を過ごしました。寒い時期で外は雪模様でしたが、ホームの中は暖かい南国の雰囲気でした。

お正月には正月料理とノンアルコールビールで乾杯しました。節分にはメニューの一つとして恵方巻きの希望があり、入居者の方がのり巻き作りに挑戦しました。食事を楽しみにしている入居者の方も多く、おはぎや赤飯は人気メニューとなっています。季節に合った食事を心がけ、グループホームならではの食事を提供していきたいと思っています。

先日ホームに鬼が現れ、豆まきをして鬼を追ひました。



南国の雰囲気を味わいました



ノンアルコールビールで乾杯です



鬼と一緒に記念撮影



誕生日プレゼントを楽しみにしています



ダイルームで楽しく運動です



のり巻き作りに挑戦です

「悪い事がないように」「痛い足が治りますように」と願っている方もいました。最後には鬼さん達とも仲良くなり記念写真を撮りました。

冬期間は外に出る事が少なくなりホーム内での活動が主になります。適度に身体を動かし楽しめるレクリエーションを行い運動不足にならないようにしています。毎日午後のラジオ体操とストレッチ運動は日課となつて 365 日行っています。

入居者の誕生日には誕生会をしてお祝いをします。無事に誕生日を迎えたこと、そして誕生日をお祝いできる事に感謝し皆でおめでとうを言います。誕生日のケーキと手作りのバースデーカード、プレゼントも楽しみにしているようです。

入居者の方が安心してその人らしい日常生活が送れるよう、スタッフは寄り添い続けたいと思っています。

TEL:018-881-6565 FAX:018-892-3639 〒019-2413 大仙市協和上淀川字五百刈田 277 番地 1